

平成29年4月より，工学部は学部改組を行います

工学部では平成29年4月より，従来の7学科を1学科9主専攻プログラムに再編します。

改組に伴い本募集要項では，改組後の名称で表記を統一してあります。

改組についての詳細は，新潟大学工学部ホームページ (<http://www.eng.niigata-u.ac.jp/>) をご覧ください。

現 行

学 部	学 科	入学定員	募集人員			
			一般入試		推薦入試	帰国子女
			前期日程	後期日程		
工 学 部	機械システム工学科	88人	56人	12人	20人	若干人
	電気電子工学科	73人	45人	8人	20人	若干人
	情報工学科	64人	45人	5人	14人	若干人
	福祉人間工学科	50人	30人	7人	13人	若干人
	化学システム工学科	78人	50人	16人	12人	若干人
	建設学科	78人	60人	8人	10人	若干人
	機能材料工学科	49人	32人	9人	8人	若干人
	計	480人	318人	65人	97人	



改組後

工学科全体で入学者選抜試験を実施します。募集人員は次のとおりです。なお，一般入試（前期日程・後期日程）の募集人員は，概ねの人数です。

推薦入試では，主専攻プログラムごとに募集し，合格者を決定します。

一般入試（前期日程・後期日程）では，分野ごとに募集し，合格者を決定します（詳細は，平成29年度入学者選抜要項をご覧ください）。

学 部	学 科	分 野	主専攻プログラム	募集人員合計	募集人員			
					一般入試		推薦入試	帰国子女
					前期日程	後期日程		
工学部	工学科	力学分野	機械システム工学プログラム	530人	86人	17人	18人	若干人
			社会基盤工学プログラム				6人	若干人
		情報電子分野	電子情報通信プログラム		101人	21人	15人	若干人
			知能情報システムプログラム				15人	若干人
		化学材料分野	化学システム工学プログラム		89人	18人	12人	若干人
			材料科学プログラム				8人	若干人
		建築分野	建築学プログラム		28人	6人	5人	若干人
		融合領域分野	人間支援感性科学プログラム		45人	9人	19人	若干人
			協創経営プログラム				12人	若干人
			計			530人	349人	71人

目 次

I	工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等	1
II	実施学科，主専攻プログラム，入試種別及び募集人員	7
III	出願要件	8
IV	出願手続	
1	出願期間	11
2	出願書類	11
3	出願書類提出先	16
4	出願書類の作成及び提出上の注意事項	16
V	選抜方法等	
1	選抜方法	17
2	配 点	17
3	口頭試問の内容	19
4	選抜期日等	20
5	試験場	20
6	受験に際しての注意事項	21
7	障がい等を有する入学志願者の事前相談	22
VI	選考結果の通知及び合格者の発表等	22
VII	入学手続等	23
VIII	入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	24
IX	入試情報の開示	24
X	学生寮について	24
	大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認票（推薦入試(B)）	25
	平成28年度 工学部推薦入試実施状況	26
	出願書類	27

I. 工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等

教育理念・目標

新潟大学工学部では、次のような素養を身につけた優秀な技術者・研究者を育成することを目標としています。

1. ものづくりをたいせつにする心
2. 豊かな創造力と柔軟な思考力
3. 自主性と高い倫理観に支えられた実践力

その実現のために、本学工学部では、工学の基礎をしっかりと学んだうえで、先端技術の開発に対応できる応用力を身につけることが可能な仕組みを準備しています。また、実践教育やキャリア教育を体験できる教育プログラムを設けているので、学生諸君は体験を通して自分の可能性を伸ばす業種を探すことができます。

教育内容・特色

一年次においては、工学教育への転換・導入教育を受けた後に、力学分野、情報電子分野、化学材料分野、建築分野あるいは融合領域分野の五つの分野に分かれて勉強します。このように工学全体を学んだうえで、二年次より主専攻プログラムに分かれて専門分野について学びます。

また、新潟大学工学部では、次のような質が高く特色ある教育を展開しています。

- 自主的なものづくりプロジェクトを通じてものづくりの魅力や楽しさに触れ、「つくる力」と「学ぶ力」（この二つを合わせて「工学力」と呼んでいます）を習得するための教育を行っています（文部科学省から「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されました）。
- 「知識の応用力」を効果的に身につけさせることを目的に、失敗を経験しながら新たな工学技術や研究開発へと導く教育を一年次から実施しています（文部科学省から「質の高い大学教育推進プログラム」に採択されました）。
- 企業と技術連携した実践的工学キャリア教育を行っています（文部科学省から「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されました）。
- 学生のチームが研究や技術開発に関する活動を行い、相互に啓発できる場「スマート・ドミトリー」プログラムを実施し、国際的に活躍できる秀でた学生「トップ・グラジュエイツ」を育成する教育を行っています。一年生から参加でき、高い研究能力が身につきます（文部科学省から「理数学生育成支援事業」に採択されました）。
- 従来の専門教育に加え、実践英語コース及び国際教養プログラムの提供や段階的海外留学の促進を行い、大学教育のグローバル化を推進しています（工学部を実施部局の一つとして、文部科学省から「グローバル人材育成推進事業」に採択されました）。
- 国際的に認定された教育プログラム（JABEE認定プログラム）や学部段階からの国際交流により、国際的に通用する高いレベルの学力が得られます。
- 高等学校や高等専門学校等でのさまざまな履修形態に配慮しつつ、大学院と教育・研究に関して強い連携を図り、毎年、多数の卒業生が大学院に進学しています。また、主専攻プログラムごとの就職指導によって不況にも強い就職実績を上げています。

求める学生像

教育理念・目標にあげた三つの素養を身につけた技術者・研究者になりたいと思う皆さんの入学を歓迎します。具体的には、工学の基礎から先端技術に関する専門的知識の習得、及び多様な知識の習得を目指す意欲と行動力を持った人の入学を希望します。

入学者選抜方針

各主専攻プログラムのアドミッション・ポリシーに基づき、人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意がある学生を選抜します。

アドミッション・ポリシー

機械システム工学プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，機械工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語，工業（設計製図）に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，機械工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，機械工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，機械工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，機械工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

社会基盤工学プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，社会基盤工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（工業（土木）に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，社会基盤工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，社会基盤工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，社会基盤工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，社会基盤工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

電子情報通信プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，電子情報通信工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（英語，電子情報通信工学に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，電子情報通信工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，電子情報通信工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，電子情報通信工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，電子情報通信工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

知能情報システムプログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，知能情報システムへの高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，知能情報システムを学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，知能情報システムへの高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，知能情報システムを学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，知能情報システムを学ぶ意欲と能力を評価します。

化学システム工学プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，化学を通して安全で持続可能な社会を実現することに高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（化学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，化学システム工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，化学システム工学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，化学システム工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（化学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，化学システム工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

材料科学プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，材料科学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，材料科学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，材料科学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，材料科学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，材料科学を学ぶ意欲と能力を評価します。

建築学プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，建築学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（工業（建築）に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，建築学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，建築学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，建築学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，建築学を学ぶ意欲と能力を評価します。

人間支援感性科学プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，人間支援感性科学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，人間支援感性科学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，人間支援感性科学への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，人間支援感性科学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，人間支援感性科学を学ぶ意欲と能力を評価します。

協創経営プログラム

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，工学と経営・経済学を融合した「協創経営」への高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，協創経営プログラムで学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力，思考力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，工学と経営・経済学を融合した「協創経営」への高い関心と，文系又は理系分野への深い理解度を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（3教科3科目）の成績及び出願書類を総合して，協創経営プログラムで学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

優れた思考力，大学における勉学に必要な基礎学力，勉学意欲，明確な志望動機，主体性を持ち，専門に対する高い関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，協創経営プログラムで学ぶ意欲と能力を評価します。

平成29年度新潟大学工学部推薦入試学生の募集については、次のとおり行います。

II. 実施学科，主専攻プログラム，入試種別及び募集人員

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	入 試 種 別	募 集 人 員
工 学 科	機械システム工学プログラム	推薦入試 (A)	3人
		推薦入試 (B)	15人
		推薦入試 (C)	若干人
	社会基盤工学プログラム	推薦入試 (A)	2人
		推薦入試 (B)	4人
		推薦入試 (C)	若干人
	電子情報通信プログラム	推薦入試 (A)	4人
		推薦入試 (B)	11人
		推薦入試 (C)	若干人
	知能情報システムプログラム	推薦入試 (A)	3人
		推薦入試 (B)	12人
		推薦入試 (C)	若干人
	化学システム工学プログラム	推薦入試 (A)	2人
		推薦入試 (B)	10人
		推薦入試 (C)	若干人
	材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム	推薦入試 (A)	2人
		推薦入試 (B)	6人
		推薦入試 (C)	若干人
	建 築 学 プ ロ グ ラ ム	推薦入試 (A)	2人
		推薦入試 (B)	3人
		推薦入試 (C)	若干人
	人間支援感性科学プログラム	推薦入試 (A)	2人
		推薦入試 (B)	5人
		推薦入試 (C)	12人
	協 創 経 営 プ ロ グ ラ ム	推薦入試 (A)	2人
		推薦入試 (B)	10人
		推薦入試 (C)	若干人

備考 推薦入試において選抜の結果、欠員が生じた場合は、その欠員分を一般入試における前期日程の募集人員に加えます。

Ⅲ. 出願要件

・共通事項

平成29年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の①，②，③及び④を含む。）で，次の各号に該当し，当該学校長が責任をもって推薦するもの

1. 人物・学業成績がともに優れ，工学の学習に熱意のある者
2. 合格した場合は，入学することを確約できる者

（注）① 平成28年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者

② 平成28年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者

③ 平成28年度中に高等専門学校第3年次を修了した者及び修了見込みの者

④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者及び修了見込みの者

工学部推薦入試は，主専攻プログラムごとに行います。また，入試方法によって（A），（B），（C）に分かれており，それぞれの出願要件が異なります。以下を参照してください。なお，工学部推薦入試（A），（B），（C）間の併願はできません。

・推薦入試（A）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	推薦入試の対象となる者（出願要件）
工 学 科	機械システム工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	社会基盤工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	電子情報通信プログラム	工業及び情報に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	知能情報システムプログラム	工業，情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	化学システム工学プログラム	工業，農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	材料科学プログラム	工業，農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	建築学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	人間支援感性科学プログラム	工業，情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	協創経営プログラム	工業，情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕

・推薦入試（B）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	推薦入試の対象となる者（出願要件）
工 学 科	機械システム工学プログラム	推薦入試（A）の出願要件に該当しない者
	社会基盤工学プログラム	
	電子情報通信プログラム	
	知能情報システムプログラム	
	化学システム工学プログラム	
	材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム	
	建 築 学 プ ロ グ ラ ム	
	人間支援感性科学プログラム	
	協創経営プログラム	

・推薦入試（C）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	推薦入試の対象となる者（出願要件）	
工 学 科	機械システム工学プログラム	<p>出願要件①</p> <p>SSHカリキュラムを受講した者で、下記のいずれかもしくは両方を満たした者 [出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSHの指定を受けている高等学校又は中等教育学校において研究又は実験を行ったことのある者 ・大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究又は実験を行ったことのある者 	
	社会基盤工学プログラム		
	電子情報通信プログラム		
	知能情報システムプログラム		
	化学システム工学プログラム		<p>出願要件②</p> <p>科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者 （科学系コンテストの内容は10ページの別表を参照） [出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。]</p> <p>人間支援感性科学プログラムでは、加えて、卓越した能力をもつ者も可とする。 （卓越した能力の内容は10ページの別表を参照） [出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。]</p>
	材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム		
	建 築 学 プ ロ グ ラ ム		
	人間支援感性科学プログラム		
	協創経営プログラム		

別表 推薦入試（C）の科学系コンテスト及び卓越した能力の内容について

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	出願要件の一つとなる具体的な科学系コンテスト名と認定基準及び人間支援感性科学プログラムにおける卓越した能力の内容 (過去3年間に以下の基準を満たした者)
工 学 科	機械システム工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	社会基盤工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
		日本生物学オリンピック予選通過者
		日本地学オリンピック予選通過者
	科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者	
	電子情報通信プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
	知能情報システムプログラム	日本情報オリンピック本選Aランク通過者
	化学システム工学プログラム	化学グランプリ二次選考入賞者
	材料科学プログラム	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
	建築学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
	人間支援感性科学プログラム	日本情報オリンピック予選通過者
		卓越した造形芸術の能力をもつ者
		卓越した音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者
	卓越したスポーツの技能を有する者	
協創経営プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者	
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者	
	化学グランプリ一次選考通過者	
	日本情報オリンピック予選通過者	
	日本生物学オリンピック予選通過者	
	日本地学オリンピック予選通過者	
	科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者	

IV. 出願手続

1 出願期間

平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（必着）

出願書類等の提出は、郵送（書留速達）に限ります。

なお、郵便事情を考慮し、余裕をもって発送してください。

2 出願書類

・推薦入試（A）

出願書類等	摘 要
①推薦入試 志 願 票 受 験 票 写 真 票	<ul style="list-style-type: none">・本要項に添付の用紙を使用してください。・写真は、縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、出願前3ヶ月以内に撮影したものとし、受験票及び写真票の所定欄にはってください。 ただし、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。 なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを、必ず確認してください。）
②推 薦 書	<ul style="list-style-type: none">・本要項に添付の用紙により推薦学校長が作成し、厳封したもの。
③調 査 書	<ul style="list-style-type: none">・文部科学省所定の様式により推薦学校長が作成し、厳封したもの。・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業見込証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも調えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。
④検 定 料 17,000円	<ul style="list-style-type: none">・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学工学部推薦入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。② 検定料の振込みは、平成28年10月21日（金）から11月4日（金）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日、祝日の振込みはできません。）③ A T M（現金自動預払機）での振込みはできません。

⑤検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	・金融機関窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を志願票の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
⑥返信用封筒 (4枚)	<ul style="list-style-type: none"> ・本要項に添付の返信用封筒4枚を提出してください。 ① 「推薦入試受験票等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入して郵便切手372円分をはってください。 ② 「選考結果通知書在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。 ③ 「推薦学校長あて通知書在中」封筒：出身学校の郵便番号、所在地及び学校名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。 ④ 「入学手続案内等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。

・推薦入試(B)

出願書類等	摘 要
①推薦入試 志願票 受験票 写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・本要項に添付の用紙を使用してください。 ・写真は、縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、出願前3ヶ月以内に撮影したものとし、受験票及び写真票の所定欄にはってください。 ただし、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。 なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを、必ず確認してください。) ・出願時において、大学入試センターから送付される「平成29センター試験成績請求票(推薦 国公立推薦入試用)」をはらないで提出することになりますが、当該「成績請求票」は到着後、速やかに同封の封筒を利用して工学部学務係あてに郵送してください。 (「成績請求票」の裏面には、①推薦入試の受験番号(8桁)、②氏名、③高校名を記入してください。) ※「成績請求票」送付用封筒は、出願時に提出しないでください。
②推 薦 書	・本要項に添付の用紙により推薦学校長が作成し、厳封したもの。
③調 査 書	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省所定の様式により推薦学校長が作成し、厳封したもの。 ・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業見込証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも調えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。

<p>④検 定 料 17,000円</p>	<p>・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学工学部推薦入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは，平成28年10月21日（金）から11月4日（金）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日，祝日の振込みはできません。）</p> <p>③ A T M（現金自動預払機）での振込みはできません。</p>
<p>⑤検定料納付証明書 （新潟大学提出用）</p>	<p>・金融機関窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
<p>⑥返 信 用 封 筒 （4枚）</p>	<p>・本要項に添付の返信用封筒4枚を提出してください。</p> <p>① 「推薦入試受験票等在中」封筒：志願者本人の郵便番号，住所及び氏名を記入して郵便切手372円分をはってください。</p> <p>② 「選考結果通知書在中」封筒：志願者本人の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p> <p>③ 「推薦学校長あて通知書在中」封筒：出身学校の郵便番号，所在地及び学校名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p> <p>④ 「入学手続案内等在中」封筒：志願者本人の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p>

・ 推薦入試（C）

出願書類等	摘 要
<p>①推薦入試 志 願 票 受 験 票 写 真 票</p>	<p>・本要項に添付の用紙を使用してください。</p> <p>・写真は，縦4cm×横3cm，上半身，脱帽，正面向きのもので，出願前3ヶ月以内に撮影したものとし，受験票及び写真票の所定欄にはってください。</p> <p>ただし，受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。</p> <p>なお，「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを，必ず確認してください。）</p>
<p>②推 薦 書</p>	<p>・本要項に添付の用紙により推薦学校長が作成し，厳封したもの。</p>

<p>③調査書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省所定の様式により推薦学校長が作成し、厳封したもの。 ・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業見込証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも調べられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。
<p>[出願要件①で出願する者] ④活動報告書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出願要件①で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、本要項に添付の用紙により、主要な活動の経歴、成果等を志願者が自筆により作成し、記載事項確認者が確認したものを提出してください。記載事項確認者は推薦学校長としてください。
<p>[出願要件②で出願する者] ⑤右欄記載の客観的資料</p> <p>※出願時に提出のあった作品等は返却しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出願要件②のうち、「科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者」の出願要件で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、別表（10ページ）の科学系コンテストの成績が証明できる書類（証明書等）を提出してください。（写しで可） ・出願要件②のうち、人間支援感性科学プログラムにおける「卓越した造形芸術の能力をもつ者」の出願要件で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、本人が制作した美術作品について、次の2つの資料を提出してください。（本人が過去3年以内に作品を制作したことを推薦学校長が証明する書類（様式は任意）を、厳封のうえ、添付してください。） <ul style="list-style-type: none"> ① 作品の概要書 <ul style="list-style-type: none"> 作品の概要，制作意図を記した書類 （A4用紙1枚以内。様式は任意とします。） ② 作品資料 <ul style="list-style-type: none"> 造形作品の場合は写真（立体作品では多方向から撮影したもの）・設計図などの資料，映像作品の場合は映像データ （映像データの記録媒体は，ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とします。） <p>※上記の本人が制作した美術作品は、面接時に持参することができます。ただし、面接時に持参可能な作品は2点以内とし、教室内に自力かつ短時間で搬入できる大きさ・重量とします。（高さ2m，幅1mのドアから搬入可能なもの。）</p> ・出願要件②のうち、人間支援感性科学プログラムにおける「卓越した音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者」の出願要件で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、本人による演奏を記録した映像データ又は本人が作曲した音楽作品を提出してください。（本人が過去3年以内に演奏又は作曲したことを推薦学校長が証明する書類（様式は任意）を、厳封のうえ、添付してください。）

	<p>① 本人による演奏を記録した映像データ (記録媒体は、ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とします。)</p> <p>② 本人が作曲した音楽作品 次の2つのうち、いずれか1つを提出してください。</p> <p>1 スコア (パート譜は不要です。)</p> <p>2 オーディオ・ファイル (記録媒体は、ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とし、オーディオ形式は任意とします。)</p> <p>・出願要件②のうち、人間支援感性科学プログラムにおける「卓越したスポーツの技能を有する者」の出願要件で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、各種大会の参加、公式記録、入賞を証明するもの(参加証、記録認定証、賞状、新聞、雑誌等)を提出してください。(写しで可)(各種大会の参加、公式記録、入賞が過去3年以内かつ本人のものであることを推薦学校長が証明する書類(様式は任意)を、厳封のうえ、添付してください。)</p>
<p>⑥検 定 料 17,000円</p>	<p>・本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学工学部推薦入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、平成28年10月21日(金)から11月4日(金)[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日、祝日の振込みはできません。)</p> <p>③ ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。</p>
<p>⑦検定料納付証明書 (新潟大学提出用)</p>	<p>・金融機関窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を志願票の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)</p>
<p>⑧返 信 用 封 筒 (4枚)</p>	<p>・本要項に添付の返信用封筒4枚を提出してください。</p> <p>① 「推薦入試受験票等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入して郵便切手372円分をはってください。</p> <p>② 「選考結果通知書在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p> <p>③ 「推薦学校長あて通知書在中」封筒：出身学校の郵便番号、所在地及び学校名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p> <p>④ 「入学手続案内等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p>

3 出願書類提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学工学部学務係
電話 (025) 262-6709

4 出願書類の作成及び提出上の注意事項

- (1) 提出書類に記載の氏名は、戸籍（外国籍を有する者は市町村が発行する住民票の写し）に記載の文字を使用してください。
- (2) 提出書類に、記載事項の記入漏れや、その他不備がある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- (3) 願書提出後は、書類の記載事項の変更は認めません。なお、出願書類は返還しません。また、既納の検定料（17,000円）は、返還しません。ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料（17,000円）を返還します。詳細は、新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する方」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部資産管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学財務部資産管理課収入係
電話 (025) 262-6053

- (4) 推薦入試の出願は、1つの大学・学部に限りますが、推薦入試（A）又は推薦入試（C）で不合格となった場合は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部にも出願できます。また、推薦入試（B）においては、不合格となった場合に備えて、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部にも出願できます。なお、本学の一般入試に出願を希望する者は、学生募集要項を請求（新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する方」→「資料請求」から請求してください。）のうえ、平成29年1月23日（月）から2月1日（水）の間に改めて出願してください。

V. 選抜方法等

1 選抜方法

・推薦入試（A）

調査書等の内容及び口頭試問を含む面接での評価を総合して行います。

・推薦入試（B）

大学入試センター試験の成績，調査書等の内容及び口頭試問を含まない面接での評価を総合して行います。

・推薦入試（C）

調査書等の内容及び口頭試問を含む面接（出願要件②のうち，人間支援感性科学プログラムにおける「卓越した能力を持つ者」の出願要件で出願した者は，作品等も含む）での評価を総合して行います。

2 配点

入試種別ごとの配点は，次のとおりです。

・推薦入試（A）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	面 接	書 類 審 査	合 計
工 学 科	機械システム工学プログラム	140	60	200
	社会基盤工学プログラム			
	電子情報通信プログラム			
	知能情報システムプログラム			
	化学システム工学プログラム			
	材料科学プログラム			
	建築学プログラム			
	人間支援感性科学プログラム			
	協創経営プログラム			

・推薦入試（B）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	大学入試センター試験			本学が実施する試験等		合計
		国語	数学	外国語	面接	書類審査	
工 学 科	機械システム工学プログラム	100	200	200	140	60	700
	社会基盤工学プログラム						
	電子情報通信プログラム						
	知能情報システムプログラム						
	化学システム工学プログラム						
	材料科学プログラム						
	建築学プログラム						
	人間支援感性科学プログラム						
	協創経営プログラム						

推薦入試（B）で課す大学入試センター試験の教科・科目については下記のとおりです。

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
工 学 科	機械システム工学プログラム	国 語 数 学 外国語	国語 必須 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科3科目]
	社会基盤工学プログラム		
	電子情報通信プログラム		
	知能情報システムプログラム		
	化学システム工学プログラム		
	材料科学プログラム		
	建築学プログラム		
	人間支援感性科学プログラム		
	協創経営プログラム		

(注1) 「数学」において、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。

(注2) 大学入試センター試験で利用制限のある教科・科目名について

「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門教育等を主とする学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。

(注3) 外国語（英語）におけるリスニングテストの取扱いについて

大学入試センター試験における「外国語（英語）」については、リスニングテストを含みます。

・推薦入試（C）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	面 接	書 類 審 査	合 計
工 学 科	機械システム工学プログラム	140	60	200
	社会基盤工学プログラム			
	電子情報通信プログラム			
	知能情報システムプログラム			
	化学システム工学プログラム			
	材料科学プログラム			
	建築学プログラム			
	人間支援感性科学プログラム			
	協創経営プログラム			

3 口頭試問の内容

・推薦入試（A）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	口頭試問の内容
工 学 科	機械システム工学プログラム	数学，英語，工業（設計製図）に関する基礎的な学力を問う試問
	社会基盤工学プログラム	工業（土木）に関する基礎的な学力を問う試問
	電子情報通信プログラム	英語，工業（電気基礎）に関する基礎的な学力を問う試問
	知能情報システムプログラム	数学，英語に関する基礎的な学力を問う試問
	化学システム工学プログラム	化学，英語に関する基礎的な学力を問う試問
	材料科学プログラム	数学，英語に関する基礎的な学力を問う試問
	建築学プログラム	工業（建築）に関する基礎的な学力を問う試問
	人間支援感性科学プログラム	数学，英語に関する基礎的な学力を問う試問
	協創経営プログラム	数学，英語に関する基礎的な学力を問う試問

・推薦入試（C）

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	口頭試問の内容
工 学 科	機械システム工学プログラム	数学に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
	社会基盤工学プログラム	出願要件①あるいは②に関する試問
	電子情報通信プログラム	出願要件①あるいは②に関する試問
	知能情報システムプログラム	数学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
	化学システム工学プログラム	化学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
	材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム	数学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
	建 築 学 プ ロ グ ラ ム	出願要件①あるいは②に関する試問
	人間支援感性科学プログラム	出願要件①あるいは②に関する試問
	協創経営プログラム	数学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問

推薦入試（A）、推薦入試（C）の口頭試問の類題集を、新潟大学工学部ホームページ (<http://www.eng.niigata-u.ac.jp/>) で公開しています。

4 選抜期日等

年 月 日 (曜日)	区 分	時 間
平成28年11月26日 (土)	面 接	午前9時00分～
平成28年11月27日 (日)		

(注) 面接はいずれかの1日で行いますので、各受験者の面接日時については、11月11日(金)に発送する「受験案内」により通知します。

5 試 験 場

新潟大学工学部（新潟市西区五十嵐2の町8050番地）

6 受験に際しての注意事項

(1) 「受験票」及び「受験案内」の発送予定日は、11月11日(金)です。

なお、「受験票」は、入学手続の際にも必要となりますので、紛失、汚損等のないよう特に注意してください。

(2) 時計の使用は、計時機能だけのものに限ります。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは使用できません。アラームは使用できません。

(3) その他、受験に際しての注意事項等については、受験票送付の際に同封する「受験案内」を熟読してください。

(4) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

- (a) 志願票、受験票、写真票へ故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真をはるなど。）をすること。
- (b) カンニング（カンニングペーパー・参考書等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (d) 試験時間中に、スマートフォンや携帯電話、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①と同様です。

- (a) 試験時間中に、スマートフォンや腕時計型端末等の電子機器類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (b) 試験時間中にスマートフォンや携帯電話、時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

7 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

(1) 相談の期限

平成28年10月21日(金)までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急連絡先に問い合わせてください。

(2) 相談の方法

申請書(所定用紙)を請求のうえ、医師の診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

(3) 連絡先・申請書請求先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学工学部学務係
電話 (025) 262-6709

VI. 選考結果の通知及び合格者の発表等

・推薦入試(A)及び(C)

平成28年12月9日(金)午前10時に、新潟大学工学部学生玄関前において、合格者の受験番号を、掲示により発表します。

なお、受験者及び推薦学校長には選考結果を郵便で送付します。

・推薦入試(B)

平成29年2月6日(月)午前10時に、新潟大学工学部学生玄関前において、合格者の受験番号を、掲示により発表します。

なお、受験者及び推薦学校長には選考結果を郵便で送付します。

・共通事項

(1) 合格発表後(正午頃)、合格者の受験番号を本学ホームページの「入学を希望する方」→「合格発表」に掲載します。

新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

(注1) ホームページへの掲載は、情報提供の一環として行うものですので、必ず選考結果及び合格通知書で確認してください。

(注2) 合格発表日のホームページへのアクセスについては、回線が大変混み合い、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

(2) 推薦入試合格者は、他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除き、本学を含む。以下同じ。)を受験しても、入学許可は得られません。ただし、

特別の事情があり、当該推薦学校長から「推薦入試辞退願」が提出され、平成29年2月15日(水)までに本学が入学辞退を許可した場合は、この限りではありません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

Ⅶ. 入学手続等

(1) 入学手続の概要は、次のとおりです。その詳細については、合格者に別途通知します。

なお、合格者が平成29年2月15日(水)までに入学手続を完了しないときは、工学部推薦入試の合格者としての権利を消失します。この場合、他の国公立大学を受験しても、入学許可は得られません。

ただし22ページⅥの(2)ただし書に該当する者を除きます。

① 入学手続期間及び手続方法

平成29年2月14日(火)から2月15日(水)まで(郵送又は持参。)

② 入学料

282,000円〔予定額〕

(注) 入学料等、10万円を超える現金を振込む際には、金融機関の窓口において、振込を行う者の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、旅券(パスポート)、在留カード等)の提示が必要となります。

本人確認書類の提示がない場合には、現金による振込みができませんので注意してください。

③ 提出書類等

2月上旬頃に送付する「入学手続案内」で通知します。

(2) 出願資格で所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、平成29年3月31日までに所定の要件を満たすことができなかつた場合は、入学を許可しません。

(3) 授業料

年額 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)〔予定額〕

(注1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。

(注2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料については、免除及び徴収猶予の制度があります。詳細は、新潟大学ホームページ(<http://www.niigata-u.ac.jp/>)の「入学を希望する方」→「入学科免除及び徴収猶予制度」、「授業料免除及び徴収猶予制度」又は合格者に送付する「入学手続案内」を参照してください。

Ⅷ. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、
①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
- なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

Ⅸ. 入試情報の開示

本学では、入試情報の開示を行います。開示を希望する者は、下記あてに開示される事項及び開示請求方法等について問い合わせてください。

問い合わせ先 新潟大学学務部入試課 電話 (025) 262-6079

Ⅹ. 学生寮について

本学の学生寮入寮者の募集案内については、平成28年12月に新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) に掲載する予定です。

なお、学生寮の概要については、新潟大学ホームページの「入学を希望する方」→「アパート・学生寮」に掲載されています。